



東邦病院  
地域医療連携便り「窓」

vol.92

【病院理念】昨日を反省し 今日を考え 明日に備える 【基本方針】

1. 私達は、患者様の人権と意思を尊重し納得と同意に基づく患者様本位の医療を心がけます
2. 私達は、地域住民の皆様健康維持増進に寄与し、安全で信頼を得る医療を実行します
3. 私達は、日々研鑽し働きがいのある職場をつくり良質で高度の医療を目指し努力します
4. 私達は、当院における診療機能を積極的に広報し、地域の医療機関、高齢者・福祉施設との連携を推進致します
5. 私達は、院内情報を共有し、健全で安定した運営を 継続するため努力します

## 開院40周年のご挨拶

当院は本年2月11日に40回目の開院記念日を迎えることができました。昭和52年2月に80床、7診療科でスタートし、病棟増改築、診療科増設を行い、現在は25診療科、病床数443床（一般病棟150床、回復期病棟58床、地域包括ケア病棟50床、療養病棟164床、緩和ケア病棟21床）となっております。

平成14年には日本医療機能評価機構の認定を取得し本年3回目の更新が許可されました。

ここまで来られましたのも、地域の皆様のご支援とご愛顧、近隣の医療機関、介護施設、行政機関のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

本年度は、内科医師2名の増員により一般病棟で質の高い集中的な急性期治療を図り、急性期治療終了後も在宅復帰に不安がある方や全般的な身体機能の低下で在宅退院が難しい方に昨年度から開設した地域包括ケア病棟での経過観察とリハビリを提供しております。また、積極的な機能訓練を必要とする患者様にはリハビリスタッフ増員により回復期リハビリ病棟で提供できるリハビリ単位数を増加いたしました。



現在、厚労省を中心に自治体、医療界では2025年の超高齢化社会到来に向けて「地域医療構想」による地域のベッド配置再編成が計画され、「地域包括ケアシステム」による地域全体・多職種の関与で医療・介護を提供する医療構造改革が進められております。当院でも、地域の需要に応えられるよう、急性期治療の充実を図り、在宅へ向けて途切れのない医療サービスを提供することで地域医療に貢献できるよう努力を続けていく所存ですのでこれからもよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団三思会 東邦病院  
院長 竹内 宏明



# 開院40周年のご挨拶



昭和52年に開院した当院は、この度創立40周年を迎えることができました。

これもひとえに地域の医療機関の諸先生方をはじめ、関係職種の皆様、そして地域住民の皆様の  
ご支援とお力添えの賜物でありますこと、深く感謝申し上げます。

40年を振り返りますと、時代とともに変化する社会環境と医療情勢を察知し、当院に求められて  
いる医療は何か、地域の方のニーズは何かを常に考え、当院も変化し続けて参りました。開設時  
は80床の病床数であった当院も、現在は443床を有するケアミックス型の病院として機能して  
おります。

開設当初から『患者様を第一に考えた医療・看護の提供』に努め、『患者様本位の医療』『患者様  
の立場に立った看護』を理念に掲げ、地域住民の皆様がいつでも安心して治療を受けていただけ  
るよう、職員それぞれが研鑽し、質の高い医療・看護サービスの提供を心がけています。



私達看護職の使命は、『病気を診るのではなく、病人を見る』こと。  
つまり、病気そのものを診るのではなく、対象者を取り巻く環境や  
人生、尊厳など、その“人”を看るといふことであると考えております。  
そのためには、患者様の立場に立って対応できる看護師でなければ  
なりません。当院看護部では、『患者様の立場に立った、思いやり優  
しさのある看護』をモットーに、専門的知識・技術を高めるとともに、  
患者様に寄り添い、患者様が求めている看護は何かを考え、行動す  
ることができる看護の提供に努めております。

40周年を迎え、これからも地域の医療ニーズに対応しうる医療と看護  
の提供に努め、地域の中核病院として信頼され、愛される病院を  
目指し、職員一丸となって参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

医療法人社団三思会 東邦病院  
看護部長 島崎 すえ子